

令和2年度 学校自己評価結果報告書

学校法人蒲原学園
幼保連携型認定こども園
蒲原学園幼稚園
やぐらこども園

1. 教育・保育方針

乳児期

信頼できる大人と環境に囲まれ、穏やかで安心感にあふれた生活をおくる。その安心感の中で丁寧に子どもと関わり、基本的な生活習慣が身につくようにする。

幼児期

親・先生・友達に囲まれ、良い環境の中でたくさん遊び、本物の体験をする。それらの経験を通して、何事にも積極的に取り組んでいける力をはぐくむ。

2. 重点目標及び計画

- ・職員の資質向上に努める
- ・職員の幼保連携体制を構築する
- ・職員のワークライフバランスを向上させる

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み内容及び評価理由
職員の資質向上	C	新型コロナウイルスの影響で研修等が軒並み中止になってしまった事が影響している。
幼保連携体制の構築	A	園内の消毒などに時間がかかってしまうため、職員の労働時間が増えてしまったが、連携良く業務が行えたと思う。
ワークライフバランスの向上	C	新型コロナウイルスの問題があり、子どもを預かる保育士として、旅行や外食の自粛を行った。職員には負担を強いてしまった。

※評価基準 A：充分達成 B：達成 C：成果が不十分 D：取組が不十分

4. 今後取り組むべき課題

令和2年度は何といても「新型コロナウイルス」への対応に追われた年度だったと言える。年度スタートから登園自粛の願いが出され、未知のウイルスに対しての不安が募る中、仕事を休むことができない保護者のためにこども園は開所を続けることとなり、職員に大いに助けられた。

そんな状況の中、園児にも職員にも新型コロナウイルス感染者を出すことなく1年を終わる事ができたのは、園に関係する方々の協力の賜物であり、年度を終わるにあたり、評価に値する事であると感じている。

教育・保育に関する共通認識として

新しいウイルスによるパンデミックは様々な変化をもたらした。職員は常時マスクを着用するので、表情がわかりにくいなど、子どもの教育・保育にも影響を及ぼしている。

随時情報収集をし、子供たちにとって何が一番良いのかを考えていきたい。

5. 来年度に向けて

新型コロナウイルスの蔓延が収まってくれる事を期待し、今年度できなかった行事などを再開していきたい。また、子ども・職員の安全確保を最優先した上で、保育カリキュラムを見直していくことが必要とされる。

6. 学校関係者からの評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められた。

7. 財務状況

公認会計士による会計監査により、適性に運営されていると認められた。

8. 静岡市による監査結果

文書指摘事項はありませんでした。